

≡≡≡ 新製品紹介 ≡≡≡

’10モデル除加湿清浄機

’10 Model Air Purifier With Dehumidification And Humidifying Function

山口 秀明 *1

1. はじめに

家電製品市場において、空気清浄機は既にメジャーな存在であり一家に1台の時代になっている。今年インフルエンザの流行もあり特に注目されている市場である。現在空気清浄機は、基本性能である脱臭・集塵機能に加え加湿機能を搭載している機種が主流になってきている。7年来受注を頂いているダイキン工業からも従来の空気清浄機に加え加湿機能搭載型、さらに一昨年前より業界に先立って発売された除湿・加湿機能を搭載した除加湿清浄機がラインナップに加えられている。今回は昨年より受注を頂いている除湿・加湿機能を搭載した除加湿清浄機「クリアフォース」を紹介する。

(写真-1)



加湿空気清浄機



空気清浄 (TG生産品)



除加湿清浄機 (TG生産品)

写真-1 ’10モデル ダイキン・ラインナップ

*1 Hideaki Yamaguchi 特機事業部 技術部 技術室

3. 意匠性向上

3-1. 中央湿度表示部 (図-1)

製品意匠の正面である前面パネルの中央部に配置されている湿度表示モニター。本部品はハーフミラー調になっている部分で現在湿度の目安をLEDで表示する機能とダイキン工業の製品の特徴である「フラッシュストリーマ」のマークを有してまさに商品の「顔」である。

上述の機能とデザイン性を確保するため、フィルムインサート成形による樹脂パーツとハーフミラー性を有した銘板の2部品構成を採用することで実現した。

3-2. ニオイ/ホコリ表示部 (図-2)

本部品は、前面パネルの両サイドに配置され、室内のホコリ・ニオイの状態をLED光の色で表現する。

製品の高級感を持たせ、かつLEDの光を直接透過させるのではなく「ぼんやり」とした光らせかたを実現させる為、透明層と乳白層の2層を有する部品として2色成形を採用し実現させた。

3-3. 塗装レス意匠

従来機にも採用していた前板の塗装レスを今回も採用し、製品全体として塗装レス化を継続している。部品のリードタイム短縮、リサイクル性向上、コスト低減を実現させている大きな要因として評価されているひとつである。

4. 品質向上

昨年度モデルで経験した組立難さ、組立品質のばらつき等を徹底的に抽出、解析を実施した。マイナーチェンジによる旧モデルとの互換性を持たせながら製品形状の見直しをすることで組立性改善、品質改善を実施し安定した製品を提供することを実現した。

5. おわりに

室内の空気改質のニーズは年々高まっており、特に今年度はインフルエンザの流行でより注目を集めている商品である。その最上位機種である「クリアフォース」の開発に継続して携われたことに喜びを感じ、その経験を最大限に生かしより良い製品づくりに今後も努力したい。最後に本製品の量産化にあたり多大なるご指導を頂いたダイキン工業株式会社及び、成形加工・組立部門の方々に深く感謝いたします。

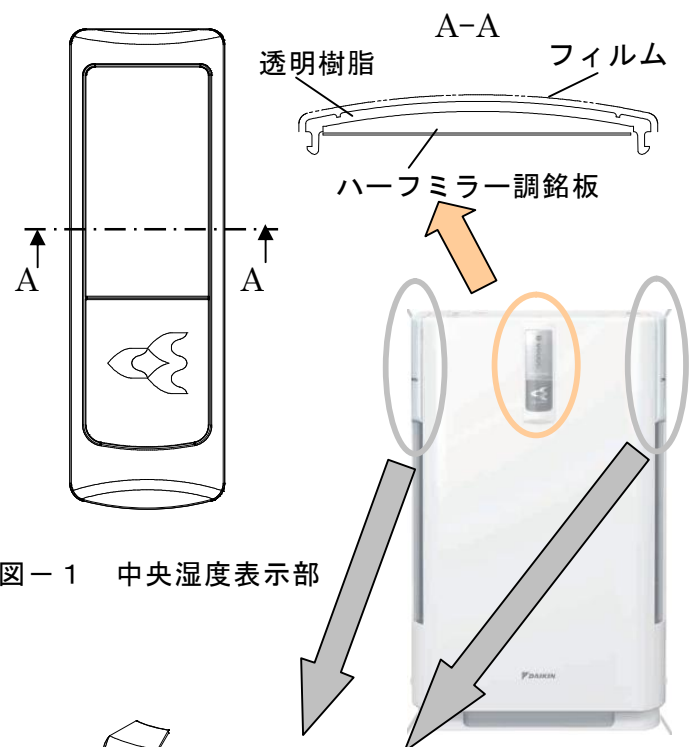


図-1 中央湿度表示部

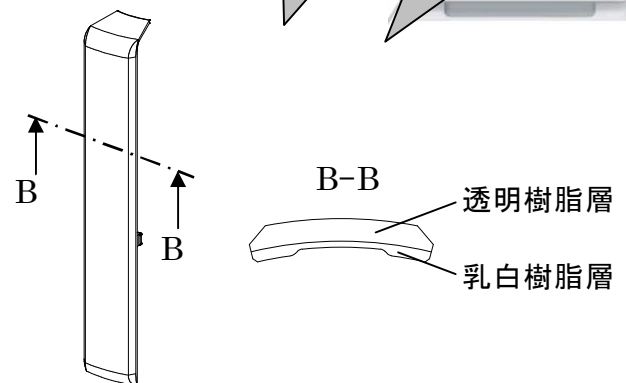


図-2 ニオイ/ホコリ表示部